

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人 葦の会	代表者	仲宗根 哲也	法人・事業所の特徴	はれる家では自宅のような雰囲気です。自分らしく生活することを支援できるよう心がけます。体操やレクなど一人一人の得意分野を生かしながら、また、一息つきたくなったら広いウッドデッキでのんびりしたり、広い庭で花や野菜を植え、成長していく過程を毎日楽しみに眺め、時には野菜を収穫し調理していただくなど、その日がとても楽しく過ごせるように、また、誰もが主体的になれるような環境作りを行っている。
事業所名	はれる家	管理者	嶺井 宏治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	人	1人	人	2人	人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所評価や資料を作成する際、第三者にも伝わりやすいように、数字を用いて具体的に記入する。	以前までは言葉で伝えようとしていたが、第三者にも伝わりやすいように具体的に記入するようにしている。	比較的、評価のしやすい具体的な計画だと思います。	各担当を決め、利用者様やご家族、職員が安心して安全に楽しく過ごせるよう全職員で課題に取り組みます。
B. 事業所のしつらえ・環境	環境整備の担当を二名決め、花壇や庭に花や野菜を植え、利用者様と一緒に手入れを行う。	環境整備担当を二名決め、ボランティアの方と一緒に草刈りなどは行えたが、利用者様と一緒に花や野菜植えが出来なかった。	利用者様と一緒に花や野菜植が出来ると良いですね。出来た野菜でおやつ等を作って食べると、利用者様も喜ばれると思います。	何月には誰が何を植えるかスケジュールを作成し実行する。出来た野菜で、おやつ作り等をする。
C. 事業所と地域のかかわり	継続して、包括支援センターや社協、民生委員等と協力し、はれる家で出来る事は何かを考え参加、協力する。	毎月、米や食品を社協へ届けている。地域の方から相談があり、包括支援センターへ繋げました。	コロナ禍ではあるが、地域の行事やイベントへ参加している方だと思いますよ。	コロナ禍でも包括支援センターや社協、民生委員等と協力し、はれる家で出来る事は何かを考え参加、協力する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	継続して、iPadを活用し、利用者様の状態や活動等をご家族、主治医、訪問看護等へ情報提供を行い共有する。	iPad から情報提供が出来るように手順書作成し活用している。	誕生日会やゲーム大会は行われているが、ドライブや散歩等の外出は行われていない。人込みを避けての外出をしたらどうですか。	利用者様に四季を感じていただけるよう、担当者を決め外出支援スケジュールを作成し実行する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見や課題を全職員が共有できるよう毎月のミーティングで話し合い、はれる家の運営に活かしていく。	毎月第一木曜日のミーティングで人の意見は否定せず、多くの意見が出るよう心掛けている。	職員を順番に一人ずつ運営推進会議へ参加させてみては？	運営推進会議を活かした取り組みが円滑に行えるよう、職員を順番に運営推進会議へ参加させる。
F. 事業所の防災・災害対策	石嶺まちづくり協議会や子供育成部会等と協力しながら、地域での災害訓練や勉強会が実施できるよう、話し合いへ参加、参画する。	地域での炊き出し訓練や勉強会へ参加し、アルファ米を提供した。	事業所の防災訓練に参加したことがないです。例えば、運営推進会議の日に防災訓練を行えば参加できますよ。	運営推進会議の日に合わせて事業所の防災訓練を実施する。

